



第50号

(発行所)

真宗大谷派

松岡山 廣讚寺

中村区城屋敷町3-30

TEL (052) 411-5301

FAX (052) 411-5341

携帯 090-1568-4623

E-mail:kousan-temple

@trad.ocn.ne.jp

一周忌を勤めて

平成二十三年五月二十六日午前。

この時から私を取り巻く世界は大きく変わりました。師の突然の死を、一年たった今もまだ受け入れることができいていません。九十年、生きた命が成しえた行跡の多さを数多くの人々から聞き、その歩みの深さにあらためて頭が下がる思いです。

そして、どしゃぶりの大雨の中、一周忌を勤めました。お参りにみえた門徒さんは七十人ほどだったでしょうか。今回の先代住職の一周忌の説教師は松岡亮昭師だったのです。

一年たった今でも、「しつかりとお参りしとるか」と先代住職が説教している姿が見えました。そして、その姿の後ろには先々代住職の姿もありました。



春の彼岸会の法話から

彼岸の中日なのに西風の冷たい一日であった。

前田健雄師の法話は何度聞いても面白く楽しい。お若いので身近なことから仏法のことをやさしく説いてくださるからだろう。聴聞している方々から、つい反応の声が出てしまう。

「仏法には明日と申す事あるまじく候。仏法のこととは急げ急げ」と蓮如上人は仰せになられた。これについて前田師は、昨春の彼岸会の時のことを話された。

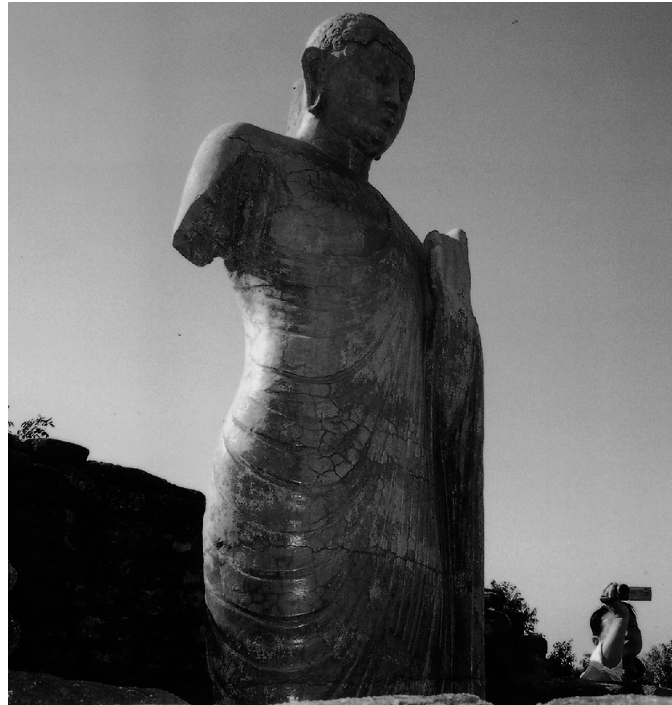
老僧に、お齋ときのあとでお茶に来るように言われたので書院に行った。そこで老僧との対話をする。九十歳になられても考えが若々しく、博学で、等身大で話されるから、つい感動し、ひたすら受け身になってしまった。あれやこれや、仏法のこと、もっと聞いておけばよかったと後悔している。また次の機会に聞けばよいだろうと勝手に判断してしまった。まさに、急げ急げだったんで

すね。

毎日を素直に楽しく暮らす三つの『カン』は感謝・感動・関心、と言われた。三つは同等ではない。このことは昨年もお聞きしたが、近ごろ、自分の身近な人、物への関心が薄れている。孤独死が多いし、毎年三万人の方が自死される。他者への関心が深ければ深いほど感動もわくし、感謝の気持ちも持てるようになってくるのだと論される。関心こそ第一であると思った。

お釈迦さまは悟りを開いた後、旅に出て人々の苦しみや悩みを聞き、その人に合った言葉をかけられた。その言葉こそが仏教であり、後世に伝えられ、今、私たちは学んでいるのだ。

浄土真宗の教育は、『不断煩惱得涅槃』と正信偈に出てくるが、過ぎたる執着心を捨てようにも捨てられない我が身。そして、世の中に当たり前はない。いっどこでどうなるかわからないのが我々の人生なのだ。



インド 龍樹菩薩像

お仏壇のお給仕

線香について。

お参りをする前にまづろうそくに火をつけます。この時、マッチでもライターでもどちらでも構いません。

そして次に線香に火をつけます。土香炉どこうろの大きさに合わせたサイズに線香を折り火をつけます。(線香の本数

は何本でも決まっておりますませんがだいたい一〜二本です)そして火のついた線香を立たせずに横に置きます。真宗大谷派では線香を立てるといふことはありません。

線香を横に置いた後、粉末のお香を入れお焼香をすることもしません。もし、お焼香をするのであれば本尊前の上卓うわじよく(机)に置いてあります金香炉かなこうろのふたを開け、その中に炭を入れて焼香するのが正式です。これらが「お火を入れる」という給仕になります。ただし、ご高齢の方は火を使うのは危険です。その場合はろうそく、線香をつけずに仏壇の電気をつけてお参りしましょう。

【組門徒会員の就任のお知らせ】

今年の三月より廣讚寺から四人の組門徒会員が任命されました。

寺西 税さん

松田之紀さん

秋田賢治さん

秋田宗和さん

廣讚寺を代表して、名古屋教区改革をお願いします。そしてさらなる仏法興隆を推進していきましょう。

行事予定

(五月)

五月 十二日(土)

午前

永代経準備

七時半

同朋委員会・例会

(役員は七時)

五月 十三日(日)

※今年から日にちが

復興永代経執行

変更されます。

午前十時より おつとめ おとぎ

説教 竹原了珠師

午後は特別プログラムとして

有志による詩吟・民謡・舞踊など

廣讚寺座による演劇もあります

五月 十九日(土)

二時～四時

学習会

二十八日(月) 十時

二十八日講・女人講

行事予定

(六月)

六月 九日(土)

七時半

同朋会(役員は七時)

十九日(火) 二時

学習会

二十八日(木) 十時

二十八日講・女人講

【20組行事】

五月 三十日(水) 別院奉仕

別院現地集合

参加費 二千元(別院にてお渡し下さい)

参加を希望される方は廣讚寺まで連絡下さい